



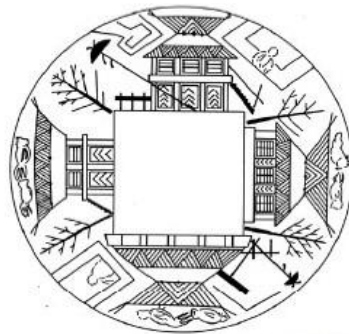
54 家形土器 神奈川県厚木市子ノ神遺跡
 弥生時代後期末/厚木市教育委員会 蔵・写真提供
 全国的に類似が少ない資料で、切妻造の屋根で、棟は角
 のような形になっています。蓋部には孔があき容器と
 なっています。高さ39.0cm、市指定文化財。



55 家形土輪 朝霞市終塚古墳
 古墳時代(6世紀前半)/朝霞市教育委員会 蔵・写真提供
 入母屋造りの屋根で棟には笠木などの装飾は付けられていません。入口表現もあり、
 内開きの扉が付けられています。高さ54.9cm。



56 家屋文鏡 奈良県河合町 佐味田宝塚古墳
 古墳時代前期/宮内庁書陵部 蔵・写真提供
 (展示は複製、国立歴史民俗博物館 蔵)
 明治14年(1881)の発掘で鏡や玉鉾、石製標高岳など多量の副葬品が発見され
 ました。鏡は36面あったとされ、家屋文鏡はその一つです。当時の建物の姿を
 知ることのできる貴重な資料です。径23.4cm。



(辰巳 1992)より

鏡の背面を4区画し、建築様式の異なる建物が配されています
 (時計回りに上から、入母屋造りの高床建物、入母屋造りの平
 地建物、入母屋造りの竪穴住居、切妻造りの高床建物(倉庫)。



竪穴住居は、方側に棟を支えられた入口が、扉前には入母屋
 造りの高床建物と同様の葺(きぬがき)が、棟の上には2羽
 のトリが表現されています。
 また、奈良県天理市の東大寺山古墳出土の埴輪太刀の装飾に
 も同様の竪穴住居が表現されています。